

ジャーナリズム  
広告・広報

メディア政策  
メディア・コンテンツ  
メディア研究

## メディアプロフェッショナル・コース授業体験ウィーク

2011年7月4日(月)～8日(金)

メディアプロフェッショナル・コースの授業を在学生の視点で体験できます。詳細は web をご覧ください。

## シンポジウム+メディアプロフェッショナル・コース進学説明会

\*事前参加申込は不要です

2011年7月8日(金)  
17:00～20:30(開場16:30)

名古屋大学文系総合館7階 カンファレンスホール

第一部 17:00～19:00 シンポジウム

「原爆から原発へ——記者たちは核をどう報道してきたか」

パネリスト: 加古 陽治(東京新聞社会部次長)  
田城 明(中国新聞特別編集委員)  
水野 倫之(NHK解説委員)

司会: 春名 幹男(名古屋大学大学院国際言語文化研究科特任教授)

第二部 19:30～20:30 進学説明会

コース・教員紹介／在学生からのメッセージ&進学相談

## メディアプロフェッショナル・コース 入試情報 2012

入学者数実績	2008年度	2009年度	2010年度
博士前期課程	11名(20)	12名(22)	10名(36)
	( )内は志願者数		

博士前期課程Ⅰ期入試スケジュール

出願期間 2011年8月11日(木)～19日(金) \*土日、8/15、8/16は除く  
入試日程 2011年9月14日(水)、15日(木)  
合格発表 2011年9月16日(金)

博士前期課程Ⅱ期及び博士後期課程入試スケジュール

入試日程 2012年2月16日(木)  
合格発表 2012年2月17日(金)

## 願書請求・入試に関するお問い合わせ

名古屋大学大学院国際言語文化研究科 入試担当  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-5(700)  
tel:052-789-4881(直通)

メディアプロフェッショナル・コースwebサイト  
<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/media/>

トドケ、メッセージ。

名古屋大学大学院  
国際言語文化研究科  
国際多元文化専攻

メディアプロフェッショナル・コース  
2012

## メディアプロフェッショナル・コースについて

〔新しい時代をリードするメディアのプロ〕

インターネットの拡大、情報技術の進展で、人類の情報活動が質的・量的に大きく変化しています。ますます重要性が高まる「メディア」を担うプロを育てます。

情報メディアに関する高度な知識と理論、情報の的確な評価、情報の創造・流通・交流に関するさまざまなコーディネート、効果的な情報コンテンツの制作と発信——そんな力を備えた人材が求められています。マス・メディアだけでなく、さまざまな企業・機関・組織でも、広報・宣伝・情報発信の専門家が必要になっています。

〔専門的技能の習得を〕

従来のオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)による人材育成に代えて、企業は幅広い社会・文化の理解力と創造性を兼ね備えた人材を求める傾向にあります。そんなニーズに応える新しい養成機関として、本コースは設立されました。

〔メディア企業がバックアップ〕

当コースは、中日新聞社、NHK、電通、東海テレビなどの協力で、これら企業から客員教授、講師陣を迎えた社会連携を柱にしています。インターンシップも取り入れています。新聞現場論、テレビ報道論、広告戦略論、メディア・テクノロジー論、民間放送論などの授業も好評を得ています。また、2009年度より、東海エリアを拠点とする日本有数の企業の協力を得て、企業広報論をオムニバス形式に展開し、理論面・実務面での強固な教育体制が実現しています。

## 独自の修了方法

大学院前期課程では、プログラム制を導入し専門性の向上を図ります。

- 論文作成プログラム  
→修士論文を執筆

- コンテンツ作成プログラム  
→コンテンツ(新聞記事、映像作品など)を作成

学生の研究面における個別的指導を充実させるため、指導教員に加え、上記二つのプログラムに対応したアドバイザー・グループを設置します。この教員集団が、個々の学生の研究進捗状況を把握し、助言します。

大学院博士後期課程では、前期課程の研究をさらに深化させるため、各研究室に所属しながら研鑽を積みます。また、コースで実施するプロジェクトにも前期課程学生とともに取り組むことができ、理論面の精緻化はもとより、実学面からも研究の強化が図られます。

## 想定する入学者

- 大学卒業者(人文・社会・理科系など専門を問わず)
- マスメディアで働く社会人
- 企業、行政、NPO、NGO等の広報担当者

## 想定する進路

- メディア企業の社員、ジャーナリスト
- 企業、行政、NPO、NGO等の広報・メディア戦略担当者
- メディア関連事業の起業家
- メディア研究者

## 修了生の主な進路

電通、中日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、報知スポーツ、NHK、読売広告社、ぴあ、NHKプラネット、東芝、任天堂、富士通、NTT西日本、日本IBM、III、ダイハツ、アサヒビール、日本体育協会、トヨタツーリスト、ブラザー工業、アイシン精機、住宅金融支援機構、東海学園大学ほか

## 教員一覧

河村 雅隆 教授(メディア論、メディアから見る欧米社会論)  
中村 登志哉 教授(政治学、国際関係論)  
エドワード・ヘイグ 准教授(メディアディスコース分析論、メディア英語)  
池側 隆之 准教授(情報デザイン、映像メディア表現)  
金 相美 准教授(社会情報学、ニューメディア論)  
後藤 明史 准教授(教育工学)  
布施 哲 准教授(政治学、政治哲学、思想史)

山田 哲夫 客員教授(中日新聞社)  
川上 久明 客員教授(電通)  
春名 幹男 特任教授(元共同通信ワシントン支局長)

